

年 号	出 来 事
昭和62 (1987)	<p>2.16 (株)軽部リネンサプライが設立される(軽部喜明、夏島町)。(『横経済史』)</p> <p>8. 1 「'87日産カップ第1回神奈川県トライアスロン選手権大会」が日産自動車(株)追浜工場内を主会場に開催される。(『神新』)</p> <p>8.20 追浜文化懇と追浜の歴史を探る会が『追浜の史跡探訪』(沢田雄也著)を発行する。(右書奥付)</p> <p>9. 3 海洋科学技術センター(夏島町)開発の深海無人探査機「ドルフィン3K」が初の潜航テストに成功する。(『海洋10』)</p>
昭和63 (1988)	<p>1.31 海洋科学技術センターで3,000メートル級深海無人探査機「ドルフィン3K」の完工式を挙げる。(『神新』)</p> <p>3.31 追浜公共職業安定所を廃止する(新設の横浜南公共職業安定所に統合)。(『神新』)</p> <p>6. 1 夏島の埋立地をめぐる横須賀市・横浜市の市境が、自治省告示98号をもって確定する。(『官報』)</p> <p>8.28 相川芳郎(追浜東町)が『御判行私考』を出版する。(左書奥付)</p> <p>9. 1 『横須賀こども風土記』上巻(上杉孝良著)が、横須賀市民文化財団から発刊される(追浜地区から中央・上町地区まで)。(左書奥付)</p> <p>10. 1 追浜ポンプ場(追浜本町)が完成し、稼働する。(『神新』)</p> <p>11. - 「クリオ湘南追浜サニークレスト」(追浜町1丁目・220戸)が竣工する。(聞取調査)</p>
平成元 (1989)	<p>3.31 「明治憲法起草地記念碑」(夏島町)が横須賀市の市民文化資産に指定される。(『市報』)</p> <p>7.17 横須賀信用金庫と鎌倉信用金庫が合併して、湘南信用金庫と改称、湘南信用金庫追浜支店となる(追浜本町1丁目)。(『神新』)</p> <p>8. 4 追浜公園軟式野球場で市民納涼のつどいが行われる。(『神新』)</p> <p>8.10 海洋科学技術センターの「深海6500」が水深6,527メートルの有人潜水世界新記録を樹立する。(『神新』)</p> <p>8.12 夏島町に市立北部体育会館が完成し、落成式を挙げる。建物面積延5,965.94平方メートル。(『神新』)</p> <p>9.27 夏島小学校の体育館で不審火があり、床など約20平方メートルを焼く。(『神新』)</p>

年 号	出 来 事
	<p>11.25 「エルシャンテ追浜」ビル（追浜町3丁目）が竣工・開店する。（『神新』）</p> <p>11. - 『追浜工業会30年のあゆみ』（追浜工業会編）が刊行される。（右書奥付）</p> <p>12. 1 『横須賀こども風土記』上巻（上杉孝良著）が横須賀市民文化財団から補訂再版される。（左書奥付）</p>
<p>平成2 (1990)</p>	<p>9.11 日産自動車追浜工場グラウンドで、市主催の第3回交通安全ゲートボール大会が開催され、700人が参加する。（『神新』）</p> <p>10. 1 追浜行政センター管内の人口3万4,700人という。（『市統計書』）</p> <p>12.20 鷹取山石仏の製作者藤島茂、死去する。（『神新』）</p>
<p>平成3 (1991)</p>	<p>3.31 梅田隧道碑(浦郷町1丁目)が横須賀市市民文化資産に指定される。（『文化財』）</p> <p>5.11 市立追浜中学校、創立30周年記念式典を挙げる。（『記念誌』）</p> <p>9.17 三浦信用金庫と藤沢信用金庫が合併し、三浦藤沢信用金庫と改称して業務開始する。（『神新』）</p>
<p>平成4 (1992)</p>	<p>1. 1 追浜地域文化振興懇話会が相模国三浦郡浦郷村『字地書上』を復刻刊行する。（左書奥付）</p> <p>4.26 追浜駅第1自転車駐車が落成する。（『読売』）</p> <p>10.12 金沢野島・夏島地区の行政境界線について、横須賀・横浜の両市長が新協定に調印する。（『神新』）</p>
<p>平成5 (1993)</p>	<p>3.27 湘南病院の院内学級「ねぎぼうず学級」が、17年の活動を終え閉級する。（『神新』）</p> <p>7. 2 海洋科学技術センターの深海総合研究棟が完成する。（『神新』）</p> <p>7.10 沢田秀男（湘南鷹取）、第31代横須賀市長に就任する。（『神新』）</p> <p>11. 6 県立追浜高等学校、創立30周年記念式を挙げる。（『追高記念誌』）</p> <p>11.27 『湘南追浜物語』第2号が追浜郷土史研究会から発行される。（右書奥付）</p>
<p>平成6 (1994)</p>	<p>4.19 追浜行政センターが夏島町9番地（現在地）に新築移転し、開館記念式典を挙げる。（『読売』）</p> <p>11.6 追浜駅前派出所を追浜駅前交番と改称する。（『田浦警察署史』）</p>

年 号	出 来 事
<p>平成7 (1995)</p>	<p>4. 1 旧追浜行政センター（神応橋際）を追浜行政センター分館として開館する。（『市政要覧』）</p> <p>4. 1 追浜管内各小学校の在籍児童数は浦郷小711人、追浜小189人、夏島小454人、鷹取小453人という。（『教育資料』）</p> <p>5.31 海洋科学技術センターが、無人探査機「かいこう」の完成式を挙げる。（『東京』）</p>
<p>平成8 (1996)</p>	<p>2. - 旧傍爾堂周辺の石塔群を祀る屋宇が建設される。（追浜本町1丁目6番地・市境路傍）。</p> <p>2.29 市が募集した道路の愛称に「夏島貝塚通り」が入る。追浜駅前～海洋科学技術センター入口迄、3.5キロ。（『神新』）</p> <p>3.15 追浜駅に完成した市内初の車椅子対応型エスカレータが運行を開始する。（『市広報』）</p> <p>7.20 追浜浄化センター内（浦郷町5丁目）の「追浜・トンボの王国」を一般解放する。（『市概要』）</p>
<p>平成9 (1997)</p>	<p>3. 1 追浜球場の愛称が「横須賀スタジアム」に決定する。（市広報）</p> <p>4. 1 市立鷹取老人デイサービスセンター（湘南鷹取4-7・鷹取小学校敷地内）が事業を開始する。（『市広報』）</p> <p>4.12 海洋科学技術センター、深海調査研究船「かいいい」を建造、一般公開する。（『読売』）</p> <p>5.20 『海軍航空技術廠と横須賀航空隊』を追浜地域文化振興懇話会が発刊する。（『右書奥付』）</p> <p>6. 1 住友重機械工業(株)追浜造船所を横須賀造船所と改称する。（『住友100』）</p> <p>7.10 沢田秀男（湘南鷹取）、第32代横須賀市長に就任（再選）する。（『神新』）</p> <p>7. - 法福寺（追浜本町）、宗祖開宗七百五十年記念事業として、山門の新築工事が竣工する。（『法福寺誌』）</p> <p>11. 2 「甲種飛行予科練習生鎮魂之碑」が貝山緑地に建立される。揮毫横須賀市長沢田秀男。（碑文銘）</p> <p>12. - 「ダイヤパレスウィザス追浜」（追浜東町1丁目、199戸）が竣工する。（聞取調査）</p>
<p>平成10 (1998)</p>	<p>4. 1 追浜地区ボランティアセンターが設立される。（『我が街追浜』）</p>

年 号	出 来 事
	<p>4. ー 戸田フーズ(株)追浜工場が夏島町に開設される。(戸田フーズ HP)</p> <p>6.30 「夏島貝塚出土品」(一括)、国の重要文化財(考古資料)に指定される(明治大学他保管)。</p>
<p>平成11 (1999)</p>	<p>3. ー 法福寺(追浜本町)、宗祖開宗七百五十年記念事業として客殿・庫裡を新築竣工する。同5月22日に記念事業完成の落慶法要式が挙行される。(『法福寺誌』)</p> <p>7.31 京浜急行電鉄(株)のダイヤ改正で、追浜駅がラッシュ時を除き普通車だけの停車駅なる。(『朝日新聞』)</p>
<p>平成12 (2000)</p>	<p>1. ー 住友重機械工業(株)横須賀造船所を横須賀製造所と改称する。(『住友100』)</p> <p>2.20 夏島貝塚発掘調査50周年記念の遺跡見学会とパネル・ディスカッションが行われる(追浜行政センター)。(配布資料)</p> <p>3.10 「榎戸貝塚出土骨角器」(53点)が市重要文化財(考古資料)として指定される。(市公報)</p> <p>7.26 関東自動車(株)横須賀工場(深浦地区)の閉所式が行われ、39年間に及ぶ歴史に幕が下ろされる。(『神新』)</p> <p>11. ー 「第1回日産カップ車椅子マラソン2000」が開催される。以後、例年実施される。(『神新』)</p> <p>この年、追浜行政センター管内の所帯数1万2,275、人口数3万996人(男1万5,702、女1万5,294)という。(『国勢調査』)</p>
<p>平成13 (2001)</p>	<p>3.29 「横須賀リサイクルプラザ」(愛称アイクル、浦郷町5丁目)の落成式を挙行。4月1日より運用開始する。(『神新』)</p> <p>5.12 海洋科学技術センターの掘削孔利用システム「べんけい」を初公開する。(『神新』)</p> <p>7.10 沢田秀男(湘南鷹取)、第33代横須賀市長に就任(3選)する。(『神新』)</p> <p>7.11 神奈川トヨタ整備(株)横須賀工場が完成する(浦郷町5丁目)。(『神新』)</p> <p>9. 4 住友重機械工業(株)の技術センター棟が横須賀製造所内(夏島町)に開設される。(『神新』)</p> <p>9. ー 夏島パークハウス(浦郷町4丁目、70戸)が竣工する。(聞取調査)</p> <p>11.20 追浜地域文化振興懇話会が『追浜ふるさと写真集』(編集委員長上杉孝良)を刊行する。</p>

年 号	出 来 事
平成14 (2002)	<p>1.15 第三海堡の撤去作業で、重さ約800トンに上る探照灯（サーチライト）の台座が引き揚げられる。関東大震災で水没して以来、その姿を現すのは79年ぶり。（『神新』）</p> <p>4. 1 第一勧業銀行追浜支店は、みずほ銀行追浜支店と改称する。（みずほ銀行 HP）</p> <p>10. 1 台風21号が三浦半島を直撃、各地に多数の被害をもたらす。（『神新』）</p> <p>10.7 法福寺（追浜本町）で『法福寺誌』（上杉孝良著）を刊行する。（左書奥付）</p> <p>11. 1 市営サービス工房役所屋の追浜店がサンビーチ追浜内（4F）に開設される。（『市広報』）</p> <p>12. - 京急追浜自動車学校（夏島町）が閉校する。（京急 HP）</p>
平成15 (2003)	<p>4. 1 住友重機械グループの造船事業を担当する新会社として、住友重機械マリンエンジニアリング(株)が設立され、横須賀製造所(造船所)が所属する。（『住友100』）</p> <p>4. 1 横浜商工高等学校、校名を横浜創学館高等学校と改称する。</p> <p>9. - 「サンデュエル湘南浜見台」（浜見台1丁目、111戸）が竣工する。（聞取調査）</p> <p>12. - 第1回「おっぱま（ワイン）寄席」が開催される。（『追浜あんず通信』）</p>
平成16 (2004)	<p>1.15 第三海堡の撤去作業で兵舎とみられる巨大な構造物（約1200屯）を引き揚げる。（『読売』）</p> <p>2.18 第三海堡の引揚構造物を、追浜展示場（浦郷町5丁目・民間施設構内）で一般公開する。（『神新』）</p> <p>4. 1 「海洋科学技術センター」が解散し、同時に独立行政法人「海洋研究開発機構」が発足する。（『官報』）</p> <p>5.23 シンポジウム「追浜に浜を」（主催よこすか海の市民会議）が追浜行政センター（夏島町）で開催される。（『神新』）</p> <p>7. 4 第33回日米大学野球選手権大会が追浜球場で開催される。（『神新』）</p> <p>10. 1 地元の関東学院大学生と追浜商盛会が共同で運営する「追浜こみゆに亭」（追浜町2丁目）が開設される。（『神新』）</p> <p>10.20 台風23号の影響で、夏島の崖崩れなど被害が相次ぐ。（『神新』）</p>

年 号	出 来 事
	<p>10.23 住居表示により「鷹取町」が「鷹取」に変更される。(『市報』)</p> <p>12. - 旧海軍航空技術廠本庁舎(北辰工業(株)横須賀工場)が解体撤去され、跡地に「海軍航空技術廠本庁舎跡地」の碑が建立される。(碑文銘)</p>
<p>平成17 (2005)</p>	<p>3. 1 海洋研究開発機構は深海巡航探査機「うらしま」が317キロメートルの連続航行に成功し、世界記録を打ち立てたと発表する。(『神新』)</p> <p>3.13 湘南病院に精神神経科と老人療養の新病棟「鷹取病棟」が完成する。(『神新』)</p> <p>3. - 「シティ追浜ルーウイング」(夏島町、398戸)が竣工する。(聞取調査)</p> <p>4. 1 追浜管内各小学校の在籍児童数は浦郷小493人、追浜小137人、夏島小336人、鷹取小292人という。(『教育資料』)</p> <p>10. 1 国勢調査の結果、追浜地区の世帯数1万2,500、人口3万436人(男15,438、女14,998)という。(『国勢調査結果報告書』)</p> <p>12.25 「横須賀海軍航空隊地下壕展」が市民活動サポートセンターで開催される。(『神新』)</p>
<p>平成18 (2006)</p>	<p>4. 7 横須賀市は追浜地域文化振興懇話会に委託して発刊した『追浜の四方山話』に、不適切な記載があったとして回収を決める。(『神新』)</p> <p>9.15 追浜商盛会の「追浜こみゆに亭&amp;ワイナリー」が市制百周年を記念してワインを完成させ、販売を開始する。(『神新』)</p> <p>10. - 追浜地域包括支援センターが湘南病院内(鷹取1丁目)に開設される。(聞取調査)</p> <p>11.18 第三海堡の撤去作業で海中から引き揚げられた巨大構造物を追浜展示場(浦郷町5丁目)で一般公開する。(『神新』)</p> <p>11.23 矢澤種吉著『人生は苦楽覚悟の旅衣』が発刊される。自分史で、大正・昭和の追浜界隈の様子が知れる。(左書奥付)</p>
<p>平成19 (2007)</p>	<p>4. 1 市営深浦ポートパーク(浦郷町2丁目)が開業する。(『神新』)</p> <p>4. 5 本浦会館付属の火見やぐら(追浜本町)が解体・撤去される。(聞取調査)</p> <p>12.19 日産自動車(株)追浜工場が昭和36年創業以来の生産累計台数が1,500万台を達成したと発表。(『神新』)</p>

年 号	出 来 事
平成20 (2008)	<p>2. - 「山の脇トンネル」(29日、追浜東町2丁目)が竣工する。(銘板)</p> <p>3.31 県立横須賀高等職業技術校(旧横須賀公共職業補導所、浦郷町4丁目)が閉校する。(『神新』)</p> <p>4. 1 追浜行政センター併設の横須賀市教育委員会追浜公民館が閉館し、横須賀市市民部コミュニティセンターが開館する。(『神新』)</p> <p>7.13 雷神社の天王祭で宮神輿の渡御が47年振りに復活する。(『神新』)</p> <p>11. - 追浜地区社会福祉協議会が記念誌『我が街追浜』を発刊する。(右書奥付)</p>
平成21 (2009)	<p>1.31 追浜駅前の「サンビーチ追浜」のテナント西友追浜店が撤退、閉店する。(『神新』)</p> <p>2. 6 NPO 法人アクションおっぱま(理事長昌子住江)が認証設立される。(アクションおっぱま HP)</p> <p>2. - おっぱまはっけん倶楽部(会長片岡博)が発足する。(おっぱまはっけん倶楽部 HP)</p> <p>4.27 市動物愛護センター(浦郷町5丁目)の完成式典が行われる。(『神新』)</p> <p>5.12 日産自動車(株)は電気自動車(EV)を、追浜工場(夏島町)を拠点として生産すると発表。(『神新』)</p> <p>8. 7 田川誠一(元自治相・日向)が死去する。享年91歳。墓所は榎戸・正観寺。(『神新』)</p> <p>10.29 小規模校に該当する追浜小学校と鷹取小学校との統合問題は、当面、現行体制を維持するものと決定。(『神新』)</p>
平成22 (2010)	<p>3.20 第1回「Yフェスタ追浜」が京急追浜駅前と貝山緑地周辺を主な会場に開催される。(『神新』)</p> <p>3.27 「夏島貝塚発掘60周年記念シンポジウム」(追浜行政センター集会室)が開催される。(配布資料)</p> <p>4. 1 良心寺の「豊臣秀吉禁制(木札)」が横須賀市重要文化財に指定される。(『市報』)</p> <p>8.19 第三海堡の構造物4基の内3基を、一時保管していた浦郷町より市の夏島都市緑地内(夏島町)への移設・保存作業が終了する。(『神新』)</p>

年 号	出 来 事
	<p>10. 1 国勢調査の結果、追浜地区の所帯数1万2,608、人口2万9,380人。町別人口 鷹取2,468、湘南鷹取8,040、追浜本町4,602、追浜町2,992、追浜南町1,320、追浜東町4,219、浜見台1,200、夏島町1,367、浦郷町3,172（浦郷町1丁目968、2丁目804、3丁目835、4丁目564、5丁目1）という。（『国勢調査』）</p> <p>10.24 鷹取山（湘南鷹取）の景観保全活動の一環として、クライマーや地元住民による雑草木などの除去作業が行われる。（『神新』）</p> <p>11.23 夏島都市緑地（夏島町）に整備された第三海堡の遺構展示場の披露式典が行われる。（『神新』）</p>
<p>平成23 (2011)</p>	<p>3.11 東日本大震災により、避難や道路、鉄道、電気など多大な影響あり。（『神新』）</p> <p>6.12 第三海堡遺構移設記念シンポジウム（主催NPO法人アクションおっぱま）が開催される（「アイクル」講堂）。</p> <p>9. ー 追浜地域運営協議会（会長澄川貞介）が、モデル地区として発足する。（追浜地運協 HP）</p>
<p>平成24 (2012)</p>	<p>2.26 第1回追浜マラソン（主催追浜連合町内会）が開催される。従来の追浜健康マラソンを改め、本格的なマラソン競走とし例年実施される。（『神新』）</p> <p>2. ー 「ルネ追浜」（追浜東町2丁目）が竣工。増築で現在7棟420戸。（聞取調査）</p> <p>3.12 追浜観光協会はコスチュームプレーで人気の「キキワン」に追浜の観光大使を委嘱する。（『神新』）</p> <p>4. 1 夏島都市緑地内（夏島町）にドッグラン広場（1,130平方メートル）が開設される。（『神新』）</p> <p>4.28 海洋研究開発機構（旧海洋科学技術センター）、宮城県沖の海底を掘削していた地球探査船「ちきゅう」のドリルが、深さ7,740メートルまで達し、世界記録を更新したと発表。（『神新』）</p> <p>7.20 『追浜の歴史探訪』（青木猛著）が発行される。（左書奥付）</p> <p>9.25 京急線追浜・京急田浦駅間の線路脇斜面で土砂崩れが発生、走行中の特急電車が脱線し53人が重軽傷を負う。（『神新』）</p> <p>9. ー 「ザ・パークハウス追浜」（追浜東町2丁目・270戸）が竣工する。（聞取調査）</p> <p>11.10 県立追浜高等学校、創立50周年記念式典を横須賀芸術劇場で挙げる。（『追浜高校記念誌』）</p>



年 号	出 来 事
平成25 (2013)	<p>1.21 第1回追浜七福神めぐり(主催追浜観光協会)が開催され、多数の応募者が参加する。(『神新』)</p> <p>4. 1 「サンビーチ追浜」からキーテナントの横須賀産業(ヨコサン)が撤退、代わりに京急ストア追浜支店が開店する。(『神新』)</p> <p>4. 1 スパーク浦郷店(浦郷町1丁目)が京急ストアスパーク浦郷店として新たに開店する。(『神新』)</p> <p>5. - 「アクアテラス追浜」(浦郷町2丁目、85戸)が落成する。(アクアテラス追浜HP)</p> <p>11.22 駅前「サンビーチ追浜」で、「第1回追浜界限おもしろ写真展」が開催される。主催おっぱまはっけん倶楽部。(『神新』)</p>
平成26 (2014)	<p>1. 6 三浦藤沢信用金庫がかながわ信用金庫と改名、かながわ信用金庫追浜支店となる(追浜本町1丁目)。(『神新』)</p> <p>11. - 「ザ・パークハウス追浜」(追浜東町2丁目)の全棟完成。開発面積8万6,156平方メートル、戸数709戸。(聞取調査)</p>
平成27 (2015)	<p>4. 1 海洋研究開発機構が独立行政法人から国立研究開発法人となり、名称を変更する。</p> <p>5.10 官修墓地(浦郷町4丁目)に眠る榊原謙齋(新潟県土族・新選旅団所属・明治10年10月29日没)の曾孫4人が、138年ぶりに墓参のため追浜を訪れる。(『神新』)</p> <p>7.12 追浜駅前の銀座通りを中心に「追浜まつり」が、盛大に開催される。(『神新』)</p> <p>10.1 追浜行政センター管内の人口3万1,705人という。(『市統計書』)</p>
平成28 (2016)	<p>1. 1 追浜地区に人工干潟を整備する計画が市港湾部で検討され、場所は市リサイクルプラザ前の海域という。(『神新』)</p> <p>8.11 「コミュニティひろば湘鷹みんなの部屋」(湘南鷹取4丁目)が開設される。(あんずの里通信)</p> <p>10. 1 追浜行政センター管内の世帯数1万4,897、人口数3万1,946人という。(『市統計書』)(町別人口数)鷹取2,152、追浜本町4,450、夏島町1,376、浦郷町3,630、追浜東町7,128、浜見台2,324、追浜町2,954、追浜南町1,295、湘南鷹取7,767。</p> <p>11.26 「NPO法人アクションおっぱま」が第29回神奈川地域社会事業賞(主催神奈川新聞厚生文化事業団)を受賞する。(『神新』)</p>